

## 2016年の交通死亡事故について

～過去5年間で最少も、人がはねられる事故・自動二輪車の事故に注意～

中日本高速道路株式会社が管理する高速道路において、2016年1月1日から12月31日までに38件の交通死亡事故が発生し、41名の尊い命が失われました。これは2015年から14件・14名の減少と、過去5年間で最も少ない結果となりました。

2016年に発生した交通死亡事故の特徴としては、車両単独の事故や車両同士の事故が減少した一方で、高速道路上で人がはねられる事故が減少しなかったこと、また、自動二輪車が関係する事故の全体に占める割合が増加したことが挙げられます。

ドライバー、ライダーの皆さまにおかれては、高速道路をご利用される際にはゆとりをもった運転を心掛けていただくとともに、万が一、事故や故障等で高速道路上にやむを得ず停止した際には、本線や車内に残らず、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ、足元に注意しながら避難していただきますようお願いいたします。また、冬の高速道路をご利用いただく場合は、冬用タイヤの装着、タイヤチェーンの携行など、万全の備えをお願いいたします。

### 【概要】

#### 1. 2016年における交通死亡事故の発生状況【別紙1ページ】

(※件数、人数等の値は会社調べによる速報値)

- 2016年は合計38件発生し、41名が死亡【図1】
- 2015年と比較し、全体で14件(27%)減少し、過去5年間で最少となった【図1】
- 2015年と比較し、車両単独の事故が10件(43%)減少【図2】
- 2015年と比較し、車両同士の事故が4件(17%)減少【図2】
- 2015年と比較し、車両対人の事故は横ばいで推移【図2】
- 2015年と比較し、自動二輪車が関係する事故の全体に占める割合が増加【図3】

#### 2. 安全運転ポイント【別紙2頁】

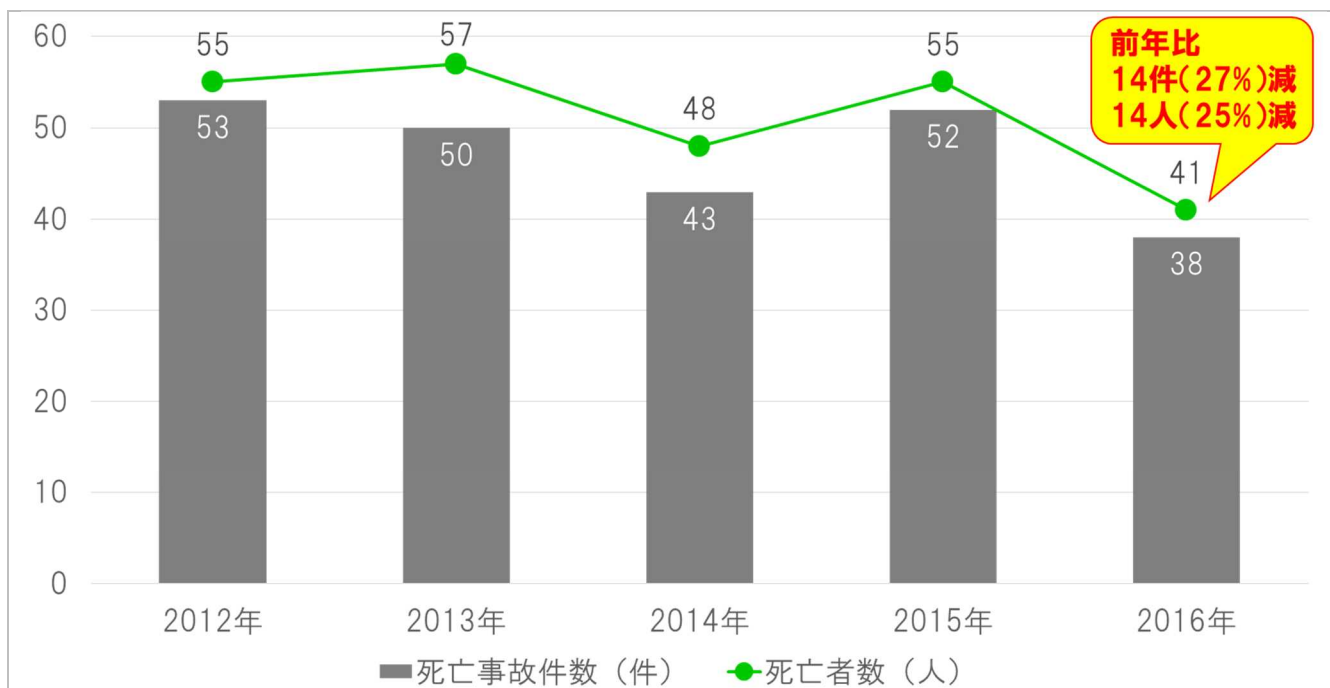
- ドライバーもライダーも、ゆとりをもった運転を
  - ①十分な車間距離を確保 ②わき見をしない ③安全な速度で走行
- 高速道路上で停止してしまった場合は、
  - ①後続車へ合図 ②足元などに注意し安全な場所へ避難 ③通報
- 冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行
- すべての座席でシートベルトを着用
- 渋滞を発見したら、ハザードランプを点灯し後続車へ合図
- 高速道路の逆走に注意

### 《別添資料》

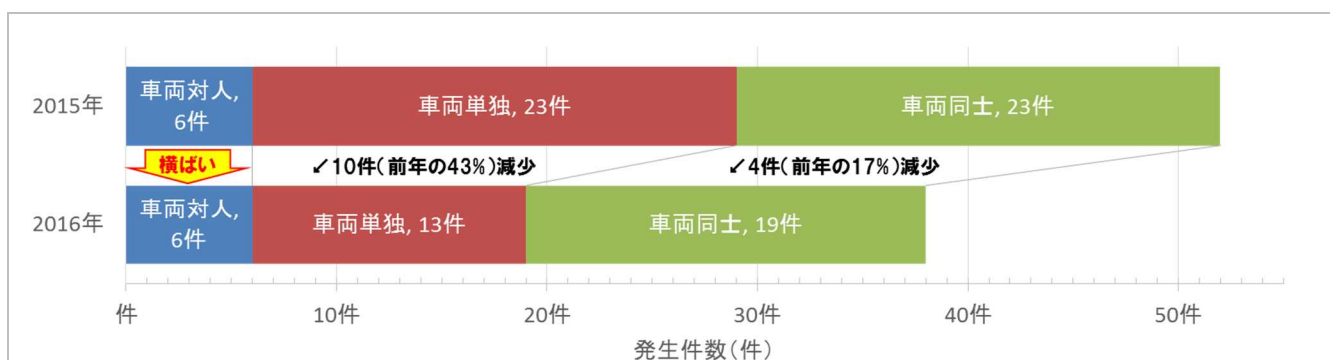
別紙：交通死亡事故発生状況とお客さまへのお願い

## 交通死亡事故発生状況とお客さまへのお願い

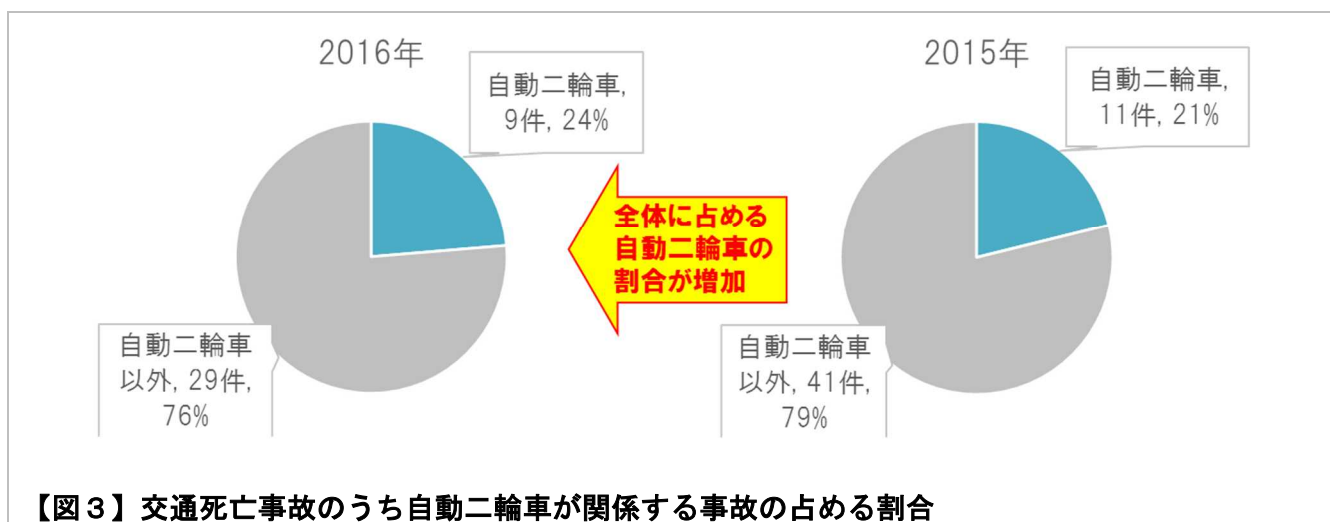
## 1. 2016年における交通死亡事故の発生状況



【図1】交通死亡事故の過去5年経年推移



【図2】交通死亡事故の対象別内訳



【図3】交通死亡事故のうち自動二輪車が関係する事故の占める割合

## 2. 安全運転ポイント

### ➤ ゆとりをもった運転を！

運転中は、十分な車間距離をとり、わき見をせず、安全な速度で走行していただきますようお願いします。

特に、自動二輪車の急ハンドルや急ブレーキは車両の転倒など重大事故に直結するおそれがありますので、ライダーの皆さまには、周囲の交通状況に十分注意し、危険を予測しながら運転していただきますようお願いします。

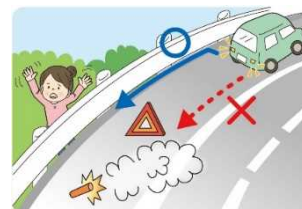


### ➤ 高速道路上で停止してしまったときは

事故や故障等により万が一高速道路上で停止してしまった場合は、ハザードランプを点灯するとともに、発炎筒・停止表示器材を車の後方に無理のない範囲で設置し、後続車へ合図してください。

また、車内や道路上に残るのは大変危険ですので、運転者も同乗者も全員、通行車両や足元に十分に注意し、ガードレールなどの防護柵より外側の安全な場所へ避難してください。

避難後は、110番や非常電話、道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報をお願いします。



### ➤ 冬用タイヤの装着と、タイヤチェーンの携行を！

冬の高速道路は気象が急変することがあります。ノーマルタイヤでの雪道走行は、上り坂での立ち往生や交通事故による通行止めの原因となりますので、お客さまの安全と円滑な交通を確保するため、高速道路をご利用の際は冬用タイヤの装着とタイヤチェーンの携行をお願いします。



### ➤ 全席シートベルトの着用を！

運転席と助手席だけではなく、後部座席も含め必ずすべての座席でシートベルトの着用をお願いします。また、お子さまには体格と車に合ったチャイルドシートの使用をお願いします。



### ➤ 渋滞を発見したらハザードランプの点灯を！

渋滞末尾に近づいた際にはハザードランプを点灯し、後続車に合図するなどして、追突事故の防止に心掛けて下さい。



➤ **高速道路の逆走にご注意を！**

行き先や出口間違いをした際のUターンなどにより、高速道路を逆走した車両が関係する重大事故が発生しています。万が一、逆走車両を発見した場合は、料金所やサービスエリア・パーキングエリアなどの安全な場所から、110番や道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報をお願いします。

また、高速道路をご利用される際には、標識や路面標示を確認し、指定された方向への走行をお願いします。万が一、逆走をしてしまった場合には、周囲を確認したうえでハザードランプを点灯して停止し、安全な場所から速やかに110番や非常電話、道路緊急ダイヤル（#9910）などで通報をお願いします。

